



河野成仁さん(1995年生まれ)

聖隸クリストファー高校 出身

愛知工科大学 工学部機械システム工学科卒業

## 静岡ダイハツ販売株式会社

浜松市東区笠井新田町1205-1

<https://www.shizuoka-daihatsu.co.jp/>

なるためには

## ●必要資格 / 自動車整備士

●主な進路 / 高校卒業→自動車整備士課程のある短大に進学→2級自動車整備士資格取得→1級自動車整備士課程のある大学に3年次編入→自動車販売店に就職

「1年のときから生徒会に所属するなど、多くのことに積極的に参加していました。なかでも一番の思い出は部活動です。少林寺拳法部に所属し、全国大会に出場しました。少林寺拳法では、精神面が鍛えられました。整備士となつた今でも、少林寺拳法で培った集中力は自分の強みになっていると感じます。実家が自動車部品を製造する会社を営んでいたため、昔から自動車は身近に存在でした。自動車整備士の道に進もうと思い、愛知工科大学自動車短期大学へ進学。その後、1級自動車整備士の資格を取得するため、愛知工科大学に3年次編入をしました」

**大学時代について教えてください。**

「愛知工科大学の魅力は、大学としての規模が大きいこと、幅広い活動の際も選択肢が増え自分で自分に合った企業を選べることができます。授業では、エンジンや自動車の構造と原理、故障箇所を修理する技術、点検の仕方などを学びました。ただ修理技術を学ぶだけでなく、何故どのように自動車が故障してしまったのかなど、故障にいたるプロセスや自動車との向き合い方、自動車整備士としての心構えを学べたことも大きかったです」

**仕事について**

「お客様が安心安全に自動車を運転できるよう、私たちが点検や整備をおこないます。点検は、故障箇所

かりともつことが大切です。仕事の内容は自動車の点検や整備だけではありません。事務作業もおこなうことだと思います。自分が仕事は単純作業の繰り返しではないので、自分の経験や引き出し、考えをしっかりとつけることが大切です。仕事の内容は自動車整備士の魅力だと思います」

**――やりがい――**

「故障内容が同じ車種の同じ箇所だとしても、原因や症状は毎回違います。マニュアル通りにはいかないため、自分で考え、自分の判断で作業をおこなう必要があります。ときにはエンジンを一度すべてバラします。マニュアル通りにはいかないため、自分で考え、自分の判断で作業をおこなう必要があります。多岐にわたる業務をおこなうため覚えることも多いのですが、その分、新しいことが学べたり発見できたときにはやりがいを感じます」

17歳 少林寺拳法部として全国大会へ出場。高い集中力と精神力を鍛える。

20歳 愛知工科大学自動車短期大学から愛知工科大学工学部1級自動車整備士養成課程に編入。

27歳 自動車整備士として勤務。自動車と真摯に向き合ながり点検や整備をおこなう日々。

**――メッセージ――**

「自動車整備士は特別な才能が必要な仕事でもないですし、努力すればどんな人にも務まると思います。自動車社会において、この先も社会に必要とされる仕事なので、将来の目標が決まってない生徒にオスマセの選択肢です。高校時代は、自分の将来を考えて決める大切な時期だと思います。たとえ失敗をしたとしても、人生は何度でもやり直すことができます。すべての経験は、最終的には自分自身の糧となっています。今は恐れずに好きなことにチャレンジしていくください！」



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

# 暮らしが企業をサポートする総合商社。



本間仁さん(1990年生まれ)

静岡東高校出身

高崎経済大学 地域政策学部卒業

## 鈴与商事株式会社

静岡市葵区栄町1-3

<https://www.suzuyoshoji.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし  
 ●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→様々な事業を展開する総合商社に就職→人事部に配属

## —学生時代

「サッカー部に入り、部活に明け暮れた高校生活です。受験に向けて部活を辞めようと思った時期もあるのですが、「コーチから『人生1回だから自分が納得するまでやってみたら?』と言われ、思いとどまつて最後のインターハイ予選までやり遂げました。貴重な仲間ができましたし、卒業後も定期的に集まっています。社会人になった今も頼りになります。社会人の存在ですね」

## 大学時代について教えてください。

「外から大好きな静岡を見てみたいという思いもあり、高崎経済大学地域政策学部に進学しました。講義では、地域が抱える問題を行政や民間



の立場からどう解決できるかなどを学びました。大学で地域のことを学ぶなかで、静岡に戻つて地元で仕事をしたいという思いが強くなつていきました」

## —仕事について

「現在私は鈴与グループの鈴与商事で働いています。入社後すぐに関連会社へ出向になり、9年間鈴与レンタカーで働きました。代車として弊社のレンタカーを利用していただけるように、自動車ディーラーや保険会社へ出向になり、9年間鈴与レンタカーで働きました。代車として

弊社のレンタカーを利用していただけのように、自動車ディーラーや保険会社へ出向なり、9年間鈴与レンタカーで働きました。代車として

弊社のレンタカーを利用して、自らキラキラした自分で私の話を聞く場を作っています」

## —やりがい

「合同説明会で学生が緊張しながらもキラキラした自分で私の話を聞いてくれているのはうれしいです。採用担当者は、学生にとって企業の仕事内容を簡単につけてください。

「鈴与商事は、エネルギー事業、住宅設備事業、DX、マテリアル事業などをおこなう、暮らしが企業をサポートしたいです」

## —メッセージ

「自立性や好奇心があり、自ら考えて動ける人を求めています。そのためにも、学生同士だけでなく幅広い世代のいろいろな人と関わってほしいです。職員さんと話をしたり、ボランティアに参加したりするのもいいと思います。私は大学時代、企業と若者をつなぐNPO団体に所属したり、ゼミで浜川市のこんにゃくをPRする活動をしたり、アルバイトをかけもちしたりして多くの人と出会つて貴重な経験をしました。その経験が社会に出た今も役に立つていると感じます」

## ありがとうございました。



18歳

22歳

32歳

販売営業

部活に熱中した高校時代。部活を通してできた仲間が財産に。

9年間鈴与レンタカーに出向。最後の3年間は店長を務める。

人事部に配属され、新卒採用を担当。学生に向けて企業の魅力を発信!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



**お客様のニーズに合わせ、  
オーダーメイドのモノづくりをおこなう。**

**中泰雅**さん(2001年生まれ)  
科学技術高校 出身

**ショウケンガリレイ株式会社**  
焼津市利右衛門1696-4  
<https://galilei-shoken.co.jp/>

●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校で電子工学について学ぶ→高校卒業→機械や生産ラインの企画開発・設計をおこなう企業に就職→設計を担当

「最近は三面図(対象物を3つの方  
向から見た図)の書き方やCAD  
(設計ソフト)の使い方など、設計の  
基礎を学びました。私が担当してい  
るのは、お菓子や冷凍食品などを製  
造するラインのコンベヤの設計。コ  
ンベヤには、ベルト、トップチャー  
ンネルなど種類がたくさんある  
ので最初は覚えることが多くて苦  
労しました。お客様のニーズに合わ  
せてオーダーメイドで設計をして  
いくので、過去の図面を参考にしな  
がら勉強していました」

「お客様のニーズに応える機械を  
仕事内容を簡単につけてください。  
仕事内容を簡単に教えてください。  
お客様のニーズに応える機械を

「高校卒業後、主に食品メーカーの一  
工場で使われる様々な機械や生産  
ラインの企画開発から設計までを  
おこなうショウケンガリレイに就  
職しました。会社見学をするなか  
で、「お客様に合わせたオーダーメ  
イドのモノづくりをしているとこ  
ろに惹かれました」

### —仕事について

「最初は三面図(対象物を3つの方  
向から見た図)の書き方やCAD  
(設計ソフト)の使い方など、設計の  
基礎を学びました。私が担当してい  
るのは、お菓子や冷凍食品などを製  
造するラインのコンベヤの設計。コ  
ンベヤには、ベルト、トップチャー  
ンネルなど種類がたくさんある  
ので最初は覚えることが多くて苦  
労しました。お客様のニーズに合わ  
せてオーダーメイドで設計をして  
いくので、過去の図面を参考にしな  
がら勉強していました」

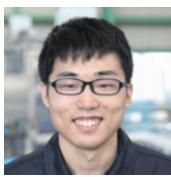
「既存の生産ラインに新しい生産ラ  
インを追加したいという相談や、既  
存ラインだと不良品の発生率が高  
いので精度を上げたいという相談  
が多いですね。営業、設計、製造、電  
気、各部署が連携してより良い機械  
や生産ラインの提案ができるよう  
に日々の仕事に取り組んでいます」

### —どのような相談が多いですか?

「1から設計していく仕事です。まず  
当業担当がお客様と打ち合わせを  
して、「こういう機械がほしい」とい  
うお客様のニーズを社内に展開し  
ます。そのニーズをもとに、當業担  
当と私たち設計が一丸となつてカ  
タチにしていきます。提案を繰り返  
してできあがつた図面をもとに、製  
造、電気制御の部署が機械を製造し  
ていきます」

「機械工学を学んでいた方のほうが  
仕事を覚えやすいと思いますが、入  
社して1から勉強していくても問  
題ないですよ。機械が好き、モノづ  
くりが好きという気持ちがあれば  
大丈夫です。設計の仕事は、進めて  
いくなかで、なかなかうまくいかず  
心が折れそうな瞬間が多くあります。  
どんなときでも、あきらめない  
心が大切ですよ。高校時代は、部活  
を頑張ってほしいです。私は模型部  
に入つて、いろいろな模型を作りました。  
部活で出会った仲間は、社会に出た今も大切な財産です」

「ありがとうございました。」



直業年

18歳

↓  
19歳

↓  
21歳

電子基板の作成やマイコン制御について学ぶ。卒業後、ショウケンガリレイに就職。

三面図の書き方やCADを学ぶ。確認を繰り返し、正確な仕事を心がける。

お客様のニーズに応える機械を、営業、製造と連携して設計する。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

### —学生時代

### —メツセージ

**医療機器が安全に使用できるよう、適切に管理し、正しく出荷する。**



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→総合物流サービスを展開する企業に就職→倉庫内マネージャー

**佐原春菜** さん(2003年生まれ)

**浜松商業高校 出身**

### 株式会社ハマキヨウレックス

浜松市浜北区平口5228(浜松メディカルセンター)  
<https://www.hamakyorex.co.jp/>

英文ワープロ部に所属し、全国大会に出場したことが印象に残っています。日々の練習も、成長につながる効果的な方法をみんなで考りました。それが結果につながったことがうれしかったです。商業高校ということもあり、資格取得にも励みました。ワープロ検定、情報処理検定、簿記検定などを取得しました。

身につけたパソコンスキルをいかしつつ、縁の下の力持ちとして多くの人の生活を支える仕事がしたいと思い、3PL(物流・括受託)を軸に総合物流サービスを提供するハマキヨウレックスに就職しました

#### ――仕事について――

研修は1週間。本社で企業理念などを学んだり、物流現場を見学したりしました。研修後私が配属されたのは浜松メディカルセンター。

マスク・シリンド・ガウンなど主に病院で使用される医療機器を取り扱っている物流センターです。扱う種類がとても多く、最初は大変でしたが、お客様と接点をもつて仕事を進めるなかで自然と知識も身についていった気がします。会話もスマートにできるようになってきました

**仕事内容を簡単に教えてください。**

「人の命に関わる医療機器を扱うプロセッシャーはあります。その分やりがいも大きいですね。お客様などに感謝の言葉を直接いただけることもあります」

英文ワープロ部に所属し、副部長を務める。全国大会に出場したことが思い出に。

高校卒業後、ハマキヨウレックスに就職。浜松メディカルセンターに配属。

医療機器を取り扱う倉庫を管理。お客様からの感謝の声がやりがいに。

17歳 英文ワープロ部に所属し、副部長を務める。全国大会に出場したことが思い出に。

18歳 高校卒業後、ハマキヨウレックスに就職。浜松メディカルセンターに配属。

19歳 医療機器を取り扱う倉庫を管理。お客様からの感謝の声がやりがいに。

高  
校  
卒  
業  
生



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



#### ――学生時代――

#### ――メツセージ――



「パソコンを使う機会が多いので、高校時代にパソコンスキルは身につけておいたほうがいいですよ。この仕事は、何事にも責任感をもつて向き合う姿勢が大切だと思います。学生時代に副部長を務めていたこともあり、部活を通してみんなをまとめる力と責任感が培われました。心配性の面もあり、社会に出るときは不安が大きかったです。でも入社してみると、あたたかく迎え入れてくれて安心しました。みなさんも、新しい環境に気負わずいろんなことにチャレンジしてみてください。ありがとうございました。」



**何かを生み出すことができる仕事。**

**音楽のチカラで人と人をつなげ、何かを生み出すことができる仕事。**

## エンターテイメントに携わる仕事

静岡県を代表する音楽フェス「頂」の企画制作、山田敬一さんを取材！

——**学生時代**  
「高校時代の思い出は部活動です。漠然と海外に憧れがあったので、世界大会に出場できるチャンスがある自動車工学部に入部し、ソーラーカーを作つて大会に出ていました。実際に2年生のときにオーストラリアで開催された世界大会に出場し、優勝することができたんです！」

オーストラリア大陸を7日間かけて縦断するレースをしたのですが、そのときに見た景色や大地の広さに圧倒され、海外への憧れが強くなりました。当時から音楽は好きで、パンクやミクスチャーバンド、ヒップホップ、ソウルやファンクまで、気がついたらいろんな音楽を好きになっていました」

### 高校卒業後の進路について

「高校の系列校であるハワイ東海インターナショナルカレッジに留学しました。初めてのハワイは、一言で言うとパラダイスでした(笑)。気候がよく、日本とは光が違うんですよ。英語はもちろん、サーフィンを通して自然保護の考え方や自然の中で遊ぶという感覚も学びました。ハワイで過ごした時間は人生において大きな出来事になっています」

——**仕事について**  
「『これがいい!』と思えることををきつめていくと、きっとおもしろい人生になると思いますよ。その気持ちやモチベーションは、今後の人生にもいかされると思うので、まずは熱中できるものを探してみてください！」



「頂」2022の様子

事だと思っています。中には、「頂が生き甲斐です！」と言つてくださる方もいて、ミュージシャンも、お客さんも、スタッフもみんなその喜びを感じるためにやっているということを今年の「頂」を通して改めて実感しました」

### ——**メツセージ**

「『これがいい!』と思えることををきつめていくと、きっとおもしろい人生になると思いますよ。その気持ちやモチベーションは、今後の人生にもいかされると思うので、まずは熱中できるものを探してみてください！」

「ありがとうございます！」

——**やりがい**  
「「口ナ禍で音楽業界的に大きな変化がありました。現在は再び「頂」など音楽イベント企画に携わっています。音楽イベントには、出演するアーティスト、音響スタッフ、舞台スタッフなど多くの人が関わっています。その中で僕は、コンセプトや企画の立案、会場の手配、アーティストやスタッフのキャスティングなどを担当しています」

——**音楽について**  
「音楽をきっかけにして、人と人が集まり、同じ空気を吸つてつながる。そして、人が出会い何かが生まれる。僕は、そんな音楽がもつていて無限のチカラをずっと信じています。一人でも多くの人がそれを感じられる機会を作ることが僕の仕

**山田敬一**さん 1982年生まれ  
東海大学付属静岡翔洋高校 出身 ハワイ大学 卒業



山田  
敬一

17歳  
↓  
26歳  
↓  
39歳

自動車工学部に所属し、ソーラーカー世界大会ジュニアクラス部門で優勝。  
野外音楽フェス「頂」の企画運営に関わりはじめる。  
音楽をきっかけにして人が出会い、何かが生まれるようなイベントを企画。

自分自身と向き合い、  
自分らしく心から笑えるかどうか。



## YOUTH FLASH

### FEATURED ENTERTAINMENT!

## エンターテイメントに携わる仕事

浜松市出身の映画プロデューサー・俳優、袴田光さんを取材！

「中学生のころから役者になりたいって思つたんです。当時の僕は心から笑えていなくて…。あと純粋に『心』にも興味がありました。笑いで人の心を豊かにすることができるたら、それはすてきなことだと思い、役者という仕事に惹かれていました」

**最初は役者志望だったんですね。**

「東京にある俳優養成所に入りました。最初の2、3年は、演技の基礎を学ぶ時間。映画や舞台を観たり、ひたすら表現を磨き自分自身を知るために自分がセリフを話すということを心がけました。演技って、良いところも悪いところもフラットに自分の心と向き合つんです。相手のためには自分がセリフを話すという意識や舞台上で起こっていることに嘘をつかないという意識が芽生え、人間としてのキヤバが広がったと思います。転機になったのは24歳のとき。オーディションに受かつて『THE WINDS OF GOD』という目標についていた舞台に立つことができました。その舞台上では心から笑えた瞬間があつたんです。それからは、日常のなかでも自分らしく笑える場面が増えた気がします」

#### ——プロデューサーへ

「浜松を舞台にした映画『のれぞれを仲間と撮ることになつて、『地元だし俺が本気を出すか』と動きはじめるところがこの仕事ならではのやりがいだと思います。疎遠だった人が浜松を舞台にした映画制作をきっかけに、映画プロデューサーとしてのキャリアをスタートします。仲間がいろんな人に囲まれてよろこんでいる姿を見るのもプロデューサーとしてうれしいですね。自分がどうこうというより、仲間たちの姿によろこびを感じます」

**袴田光**さん 1982年生まれ  
PL学園高校 出身 アップスアカデミー 出身



映画  
監修

20歳

↓

24歳

↓

32歳

オーディションに合格し、アップスアカデミーに入所。役者としての下積みが始まる。

ひとつの目標であった舞台、「THE WINDS OF GOD」の出演を果たす。

浜松を舞台にした映画制作をきっかけに、映画プロデューサーとしてのキャリアをスタート。

映画「OLD DAYS」の舞台挨拶の様子



——メッセージ

「校則の厳しい高校で男女交際禁止だったので、好きな子に好きと言えない高校生活を送りました。好きな子に好きと言えることってすごくできなことです。恋愛だけではなく、親に感謝の気持ちを伝えるのもいいと思います。高校時代は、一步踏み込んでそのときにしかできないことにコマーシャルしてほしいです。僕は今でもいろんなことに挑戦して、青春を過ごしていますよ。でも10代の青春は10代のときしか経験できません。仲間、家族を大切にして貴重な時間を過ごしてください。ありがとうございました。」



中谷和人さん (1997年生まれ)

新居高校出身

### 遠州鉄道株式会社

浜松市東区西ヶ崎町686-1(鉄道営業所)

<https://www.entetsu.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 動力車操縦者運転免許試験
- 主な進路 / 高校卒業→鉄道会社に入社→車掌として勤務→動力車操縦者運転免許を取得→鉄道運転士として勤務

鉄道の運転に正解はありません。  
その日その時に合わせた最適の運転を。

「高校生活は野球漬けの日々です。野球で大切なのは1球に対する集中力。集中して日々の練習に取り組むことで、成果が結果に表れることが実感しました。同時に継続することの大切さも感じました。進路に関しては、漠然と乗り物を運転する仕事を興味をもっていました。『電車を運転するってかっこいい。楽しいんだろうな』と想像していました。あとは、人と関わることが好きだったので、人と接する仕事。そのふたつが重なったのが今の仕事です」

――仕事について  
「遠州鉄道に入社後、会社の規則、運賃関係や安全のことなどを勉強しました。研修後、まずは車掌として勤務。車内の案内放送、扉の開閉、安全確認などをおこないます。4年ほど車掌を経験し、国家資格である動力車操縦者運転免許試験に向けた教育期間が始まりました。学科では、鉄道従事者として必要な法規、電車の構造、運転理論などを学びました。実技では、無人の電車を運転し、決められた速度で通過したり、決められた場所に停車できるよう練習をします。試験合格後は、1年間、指導員と一緒に電車を運転して経験を積み、ようやくひとりで運転できるようになります」

「働くうえで大切なことは?」  
「常に最悪な状況を想定して『かもしれない運転』を心がけています。きっと安全だろうと、思い込みで運転しないこと。大勢の命を預かっていません」

――やりがい  
「遠州鉄道は集札を乗務員が行うのでお客様と接する機会が多いです。『ありがとうございました』など特性が違いますし、お客様の人數や天気、湿気などにも左右されます。条件に合わせた臨機応変な対応が求められます。同じ条件になることがないので正解もありません。その日その時に合わせた最適の運転を心がけています」

――やめがれ  
「遠州鉄道は集札を乗務員が行うのでお客様と接する機会が多いです。『ありがとうございました』など特性が違いますし、お客様の人數や天気、湿気などにも左右されます。条件に合わせた臨機応変な対応が求められます。同じ条件になることがないので正解もありません。その日その時に合わせた最適の運転を心がけています」

「お客様は、通勤通学で利用する方が高齢の方まで様々。安全に正確に、時間通りに目的地へお客様をお届けすることが私たちの仕事です。車両によってブレーキの効き方など特性が違いますし、お客様の人數や天気、湿気などにも左右されますが、条件に合わせた臨機応変な対応が求められます。同じ条件になることがないので正解もありません。その日その時に合わせた最適の運転を心がけています」



18歳

野球部に所属し、部活に熱中した高校時代。卒業後、遠州鉄道に就職。

↓  
22歳

車掌を4年経験し、教育期間を経て動力車操縦者運転免許試験に挑戦。

↓  
25歳

鉄道運転士として勤務。現状に満足せず、挑戦と探究を繰り返して常に上をめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



### ――学生時代

### ――メッセージ

遠州鉄道の場合は、車掌を数年経験した後、動力車操縦者運転免許試験に挑戦。合格して社内の研修を終えると、鉄道運転士として働くことができます。試験に向けた教育期間が制度として設けられているので、真剣に勉強すれば合格できると思いますよ。常に探究心をもって自分を高めていく姿勢、勉強する姿勢を忘れないでください。一度しかない学生生活。学校行事や部活を全力で楽しんでもらいたいです。今しかできないことに全力で取り組んでください!」

「ありがとうございます!」



藤座大騎さん(2002年生まれ)

焼津水産高校出身

## 株式会社柳屋本店

焼津市東小川2-1-10  
https://www.yanagiya.co.jp/

なるためには

## ●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 食品の流通について学ぶ→高校卒業→水産加工品の製造販売をおこなう企業に就職→研修で各製造工程を経験→急造庫工程を担当

伝統的な職人の技を受け継ぎ、

高品質な水産加工品の製造に取り組む。

「カッター部(※)に所属し、2年のときに初めて全国大会に出場したことが思い出に残っています。全國大会ではたくさんの刺激を受けました。3年のときは副部長を任せられ、大会ではベストタイムを出しができました。コロナで全国大会は中止になってしまったのですが、3年間の努力が自分たちの力にならなかったことを実感できた経験です」

**水産高校で学んだことは?**  
「焼津水産高校は、海洋科学科、食品学科、栽培漁業科、流通情報科に分かれているのですが、私がいたのは流通情報科。魚などの原料を仕入れて加工し、製品化して販売するまでの流通経路について学びました。なかでも印象に残っているのは『魚国』を立ち上げ、ほかの学科が実習で作ったジャムや缶詰などの商品を県のイベントなどで販売して運営をしました。チラシや商品ラベルも自分たちで制作しましたし、とてもいい経験になりました」

## | 仕事について

「かつお節など水産加工品の製造販売をおこなう柳屋本店に就職しました。工場の中には4つの製造工程があります。最初は、鰯の余分な部分を切り落としたり茹でたりする『生切り工程』。茹でられた鰯を製品ごとの枠に並べて形を作る『成形工程』。成形工程でできたものを急造庫と呼ばれる乾燥させるための建物に入れ、水分を飛ばしていくま

す。さらに煙で燻して香り付けもおこなう『急造庫工程』。最後に異物が入っていないか、水分や菌が検出されないかをチェックして段ボールに詰めて発送する『荷造り工程』。私は急造庫を担当しています」

**仕事内容を簡単に教えてください。**  
「成形された鰯が積まれていて、それを自分が担当する急造庫の部屋に7日から10日間ほど入れます。地下に降りて薪を組んで火をつけ、熱と煙で鰯の水分を飛ばしていくます。このとき、急造庫の中を決められた温度以上にしないと良い製品になります。毎日、天気や風の強さ、湿気、薪の状態が違うので、自分たちの判断で薪の量や置き方を調整します。これは、経験を積みながら感じで覚えていくしかないですね」

**やりがい**  
「一番大事なのは温度管理。その日の状況に合わせて調整がうまくいったときにやりがいを感じます。1年目は先輩に助けてもらいながらでしたが、2年目からは自分で温度管理できるようになりました。自身の成長にもやりがいを感じます。スーパーやテレビCMなどで、自社製品を見たときもうれしいですね」



18歳

19歳

20歳

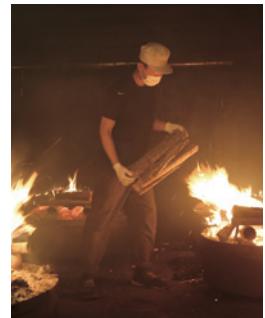
高校卒業

カッター部に所属。最後の大会ではベストタイムを出し、3年間の努力を実らせる。

柳屋本店に就職。各製造工程を経験し、急造庫の管理を担当。

その日の状況に合わせて薪の量や組み方を調整し、安定した温度管理を心がける。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

## —メッセージ—

「食品を扱う仕事なのでHACCP(食品の安全を確保するための衛生管理手法)の勉強をしておくと仕事を

に役立つと思います。あとは体力も必要ですね。高校時代に学んできたことは、直接的ではないかもしれませんのがどこかで必ずいかせる場面があります。勉強は真面目にやるべきですよ。工場内では、いろいろな世代の人とコミュニケーションをとりながら仕事を進めます。普段から元気なあいさつを習慣づけて、いろいろな人との関わりを大切にしてください」

ありがとうございました。



**的確に許認可を出すことで事故を防ぎ、市民の安全な生活を支える。**

**芥川昌宏** さん(1989年生まれ)  
浜松開誠館高校 出身  
愛知学院大学 法学部卒業

**浜松市消防局**  
浜松市中区下池川町19-1  
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/bosai/shobo/index.html>

**なるためには**

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→公務員試験対策講座を受講→消防職員採用試験に合格→消防学校に入校→各消防署に配属→予防課に配属

「中学高校と空手部に所属し、部活動に励んだ学生時代。空手を通して心技体が鍛えられたことは、仕事においても役立っています。困難な状況になつても、問題から逃げたり責任転嫁をしたりせず、最後までやり抜く気持ちが育まれました」

【大学時代について教えてください】  
「スポーツ推薦で愛知学院大学法学部に進学し、大学でも空手に熱中しました。授業では法律全般を学び、ゼミでは刑法を専攻しました。空手を続けてきたこともあり、将来の目標として漠然と思い描いたのが体を動かす仕事。そのなかでも消防士に興味をもち、大学が実施する公務員試験対策講座を受講しました。面接対策もしてもらいましたし、ずっと部活動けだったので集中して対策ができてよかったです」

【消防職員採用試験に合格後は、消防学校で規律や集団生活について学びます。家族よりも長い時間を過ごすなかで仲間意識が芽生えました。この半年間でチームワークの大切さを叩き込まれました。ほかには、消火活動や救命処置の方法、各種資機材の取扱い方など、消防士としての基礎を学びました。消防学校卒業後は、消防署に配属され、約十年間、ポンプ車、梯子車に乗って災害現場に出動し、消火活動や救助活動を行う業務に従事しました。みんながイメージする消防士の姿は、火災現場での消火活動や事故現場

場での救助活動、救急車に乗つて現場に駆けつける様子だと思います。それ以外にも消防士の仕事は多岐に渡つていて、配属となつた予防課は、検査、許認可など火災を未然に防ぐための業務を行つています」



【ーーー仕事についてーーー】  
「消防職員採用試験に合格後は、消防学校で規律や集団生活について学びます。家族よりも長い時間を過ごすなかで仲間意識が芽生えました。この半年間でチームワークの大切さを叩き込まれました。ほかには、消火活動や救命処置の方法、各種資機材の取扱い方など、消防士としての基礎を学びました。消防学校卒業後は、消防署に配属され、約十年間、ポンプ車、梯子車に乗って災害現場に出動し、消火活動や救助活動を行う業務に従事しました。みんながイメージする消防士の姿は、火災現場での消火活動や事故現場ことにやりがいを感じます」

【ーーーやりがいーーー】  
「消防士の魅力は、人の役に立つることを実感できるところです。現場で働いていたときは、感謝の言葉を直接いただけることがやりがいででした。現在は、的確に許認可を出すことで未然に事故を防ぎ、間接的に市民の安全を支えられている

【ーーー人事内容を簡単に教えてください】  
「保安3法(※)にのとづいて、火薬高圧ガス・液化石油ガスの許認可に関わる仕事を担当しています。たとえば、「高圧ガス製造設備を設置したい」という申請を受けたら、安全管理が確保されているかなどの審査をして許認可の判断をします。花火の製造会社、液化石油ガスを供給販売する会社、酸素タンクのある病院など、多種多様な業種からの申請に対応します」

【ーーーメッセージーーー】  
「まずは、各自治体が実施する消防職員採用試験に合格する必要があります。問題集を買って自分でやるよりも、傾向を把握している講師の対策を受けた方が心強いと思います。私も大学の公務員試験対策講座を受けてよかったです。必要な体力や知識は、消防学校に入つてからでも身につけられます。一番大切なのは、苦しいときもあきらめない気持ちの強さ。僕は空手からそれを学びました。いろいろな経験を通じて、みなさんも強い気持ちを育んでおいてください」

ありがとうございました。



18歳 空手に熱中した高校時代。スポーツ推薦で愛知学院大学へ進学。

23歳 消防職員採用試験に合格。10年間、消防署で勤務し、予防課へ異動。

33歳 火薬、高圧ガス、液化石油ガスの許認可を担当。的確な許認可を出すことで市民の安全を支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

